

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議を2ヶ月に1回開催しているが、場所はデイサービスで開催しており、会議で口頭での報告や情報交換が主となっている。グループホームの活動について、より理解して頂く為には、お客様の表情や様子、職員のケアの様子を実際に見て頂くことが必要	日々の取り組みやお客様の生活の様子を見て頂くことで、グループホームの活動に対する理解を深める	年6回の会議に対し、避難訓練への立ち合い(1回)、行事参加(1回)、お客様と一緒に食事をする等、普段の生活の一部へ参加して頂く(1回)、会議体(3回)を実施し、グループホームの様子を身近で見て頂く。	12ヶ月
2	10 (6)	家族と職員、お客様が雑談や相談できる場面がない	職員と家族、お客様との信頼関係を深めれる場面を作る	外出や誕生日企画外出などの際に家族様にも声をかけ一緒に出掛ける。個別行事の場面を通して、御家族様と話をしていく。	12ヶ月
3	23 (9) 26 (10)	お客様のサービス計画書の内容が類似しとり、個別性が薄い	「好きなこと」「やりたいこと」「得意なこと」をサービス計画書へ入れ、その人の「生活意欲」を高めれるような計画書を作成していく。	プラン更新ごとに、左記内容の検討を行い計画書の作成を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。